

令和 4 年 6 月 27 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18K01639

研究課題名（和文）創業チームの組織デザインとイノベーション

研究課題名（英文）Organizational design and innovation for the founding team

研究代表者

加藤 雅俊（KATO, Masatoshi）

関西学院大学・経済学部・教授

研究者番号：80507707

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題は、スタートアップ企業のイノベーション創出の源泉としての「人的資本」「組織デザイン」の役割について取り組んだ。特に、スタートアップのイノベーション成果における「アントレプレナー自身や従業員の人的資本の水準や流動性」の影響について明らかにした。この研究課題を通して、スタートアップ企業がイノベーションに取り組む際の組織のあり方についていくつかの手がかりを得ることができた。研究成果は国際学術誌に発表するとともに、セミナー、学会、講演会などで発信に努めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

スタートアップ企業は、競争の活発化、イノベーション、雇用創出といった経済活性化の役割が期待されている。他方で、スタートアップ企業は「新規性の不利益」と呼ばれるような新しさが原因で生じる多くの課題に直面することが知られている。市場任せにしているだけでは創業はうまく行かないことが多いため、政策的に何らかの介入が求められている。本研究課題では、スタートアップ企業がどのような組織作りをすることがイノベーション実現において有利なのかといった問いに取り組み、たとえば、アントレプレナー自身や従業員の人的資本の水準の高さや入れ替わり（流動性）がイノベーション成果にどのように結びつくのかについて明らかにした。

研究成果の概要（英文）：This research project addressed the role of human capital and organizational design in determining the innovation outcomes of start-up firms. In particular, the influence of human capital and mobility of entrepreneurs and employees on start-ups' innovation outcomes was clarified. Through this research project, we provided some clues as to how start-ups should be organised when they are involved in innovation. The research results were published in international journals and presented in seminars, conferences and lectures.

研究分野：アントレプレナーシップの経済学

キーワード：スタートアップ イノベーション 組織デザイン 雇用の流動性 アントレプレナー 人的資本

1. 研究開始当初の背景

スタートアップ企業は、競争の活発化、イノベーション、雇用創出といった経済活性化の役割が期待されている。他方で、スタートアップ企業は、有する資源が乏しく、経験もほとんどないため、資金調達、人材確保、取引先・提携先確保などに苦労する「新規性による不利益 (liability of newness)」に直面することが広く知られている。情報の非対称性や資本市場の不完全性といった「市場の失敗」が原因で、市場任せにしているだけでは創業はうまく行かないことが多いため、政策的に何らかの介入が求められている。どのようにスタートアップ企業によるイノベーションを促進するかという問いは政策的な課題である。

特に、研究開発型スタートアップ企業は、高い資金需要をもつ一方で外部の金融機関や貸し手との間の情報の非対称性が大きく、実際には十分な資金調達が難しく、研究開発投資からリターンを思うように得ることが難しい。そこで、リスクやコストをシェアすることを可能とする「企業、大学、研究機関などの他組織との共同研究開発を含めたパートナーシップ」が重要な戦略となるが、外部から知識を獲得する上で重要な役割を果たす組織内部の「吸収能力」を十分に有していないことが知られている。そこで、「創業者の人的資本」が企業の吸収能力を補完するため、パートナーシップ構築において重要な役割を果たすことが先行研究において示されてきた。

2. 研究の目的

「創業チーム」の組織デザインは創業後の企業の成否にどのような影響を与えるのか。これまでの先行研究は、創業後のパフォーマンスを決定する要因として、創業者であり代表者 (CEO) の人的資本にのみ焦点があてられる傾向があり、共同創業者を含めた「創業チーム」の役割については必ずしも明らかにされていない。スタートアップ企業は、既存企業と比較して資源 (人的・物的・財務的) の制約が非常に大きく、ステークホルダー (銀行などの外部資金提供者, 潜在的な労働者, 取引相手など) との間には存在する「情報の非対称性」によって、外部から必要な資金を調達することが難しいだけでなく、必要な人材の確保や取引相手の探索などにおいていくつもの障害に直面する。

こうした背景において、創業者を含めた「創業チーム」の人的資本はスタートアップ企業にとって貴重な資源であり、その戦略やパフォーマンスを決定する上で重要な役割を果たすと考えられる。そこで、本研究課題では、スタートアップ企業がどのような組織作りをすることがイノベーション実現において有利なのかといった問いを明らかにすることが目的である。たとえば、代表者 (アントレプレナー) 自身の人的資本に加えて、従業員の人的資本の水準の高さや入れ替わり (流動性) がイノベーション成果にどのように結びつくのかについて取り組んだ。

3. 研究の方法

本研究では、日本のスタートアップ企業のデータを用いてさまざまな問いに取り組んでいる。当初、スタートアップ企業に対してアンケート調査を実施しようと試みたが、予算制約のため実行が難しいと判断し、既存のデータソースをもとに分析することになった。既存のデータソースとして、研究代表者が以前参画していたプロジェクトで実施したアンケート調査の結果を用いた。この調査では、スタートアップ企業の代表者の個人属性だけでなく、従業員の構成についての情報が含まれている。

そこで、本研究では、スタートアップ企業の代表者（アントレプレナー）の人的資本や従業員の構成（家族従業員の有無など）や流動性に関する指標を用いて分析を行うこととし、創業後のイノベーション成果との関係を明らかにした。

4．研究成果

本研究では、スタートアップ企業の代表者（アントレプレナー）の人的資本や従業員の構成（家族従業員の有無など）や流動性に関する指標を用いて分析を行うこととし、創業後のイノベーション成果との関係を明らかにした。

具体的には、スタートアップ企業が共同研究の効果を十分に活用し、イノベーション成果を効率的に達成する上で、創業者の人的資本が欠かせない役割を果たすという結果を示した。また、「家族従業員の役割」がイノベーション創出においてどのような役割を果たすのかについて分析してきた。家族従業員はスタートアップ企業が苦労する資源の希少性を補う上で重要な役割を果たし、結果として彼らの存在がイノベーション創出において正の影響を与えることが明らかになった。

関連研究を含めてこれらの研究成果は国際的学術誌、セミナー、学会での報告を通して対外的な発信を行うことに努めた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計6件（うち査読付論文 5件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 2件）

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Masatoshi Kato, Koichiro Onishi, Yuji Honjo | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Does patenting always help new firm survival? Understanding heterogeneity among exit routes | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Small Business Economics | 6. 最初と最後の頁 1-27 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s11187-021-00481-w | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Joern Block, Christian Fisch, Kenta Ikeuchi, Masatoshi Kato | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Trademarks as an indicator of regional innovation: evidence from Japanese prefectures | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Regional Studies | 6. 最初と最後の頁 1-20 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/00343404.2021.1887843 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 該当する |
| 1. 著者名 Alex Coad, Masatoshi Kato | 4. 巻 57 |
| 2. 論文標題 Growth paths and routes to exit: 'shadow of death' effects for new firms in Japan | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Small Business Economics | 6. 最初と最後の頁 1145-1173 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s11187-020-00341-z | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 該当する |
| 1. 著者名 Masatoshi Kato | 4. 巻 29 |
| 2. 論文標題 Founders' Human Capital and External Knowledge Sourcing: Exploring the Absorptive Capacity of Start-up Firms | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 Economics of Innovation and New Technology | 6. 最初と最後の頁 184-205 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/10438599.2019.1598670 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Yuji Honjo, Masatoshi Kato | 4. 巻 29 |
| 2. 論文標題 Do Initial Financial Conditions Determine the Exit Routes of Start-up Firms? | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Evolutionary Economics | 6. 最初と最後の頁 1119-1147 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00191-019-00623-0 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 加藤雅俊 | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 スタートアップ企業の成長 創業活動を通じた経済活性化へ向けて | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 大橋弘,・財務省財務総合政策研究所 (編) 『イノベーションの研究 生産性向上の本質とは何か』 きんざい | 6. 最初と最後の頁 125-160 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 0件/うち国際学会 4件)

| |
|---|
| 1. 発表者名 加藤雅俊 |
| 2. 発表標題 CEO succession and new firm performance: Does CEO origin matter? |
| 3. 学会等名 企業家研究フォーラム |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 加藤雅俊 |
| 2. 発表標題 CEO succession and new firm performance: Does CEO origin matter? |
| 3. 学会等名 日本経済学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Masatoshi Kato |
| 2. 発表標題 CEO Succession and New-firm Performance: Does CEO Origin Matter? |
| 3. 学会等名 Research in Entrepreneurship and Small Business (RENT) Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Masatoshi Kato |
| 2. 発表標題 Cooperative R&D and the Performance of Start-up Firms: Does Founders' Human Capital Matter |
| 3. 学会等名 Atlanta Conference on Science and Innovation Policy (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Masatoshi Kato |
| 2. 発表標題 Cooperative R&D and innovation performance in start-up firms |
| 3. 学会等名 企業家研究フォーラム年次大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Masatoshi Kato |
| 2. 発表標題 The effects of trademarks and patents on employment growth in early-stage start-ups |
| 3. 学会等名 1st BETA-Workshop "Beyond patents...: towards new data for innovation research in economics (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Masatoshi Kato |
| 2. 発表標題 Cooperative R&D and innovation performance in start-up firms |
| 3. 学会等名 ICABE Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

| |
|---|
| 加藤雅俊個人ホームページ http://www.m-kato.net/ 関西学院大学アントレプレナーシップ研究センター https://www.kg-recent.net |
|---|

| | | |
|---------------------------|-----------------------|----|
| 6. 研究組織 | | |
| 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| | |
|---------|---------|
| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|